

●腰越駅の駐輪場設置に向けて江ノ島電鉄と連携、民有地借り上げも

腰越駅周辺には駐輪場がなく、市に対して用地確保や注意喚起のお願いし、また私も借りられそうな場所があれば所有者に確認をするなど様々取り組んでまいりましたが困難な状況が続いています。

12月の一般質問では、「江ノ島電鉄に協力を求めて取り組めないのか」「警告札がその場で剥がされ散乱していることへの改善策」を求めました。市長からは「江ノ島電鉄に協力をお願いして連携を図り、民有地借上げを含め取り組んでいく」旨のご答弁をいただきました。引き続き、腰越駅周辺の駐輪に係る課題解決に向けて尽力してまいります。



道路損傷等通報システムの活用を

市民の方から手軽に道路の損傷等を通報できるシステムを要望してまいりましたが、現在、LINEを使用して市に通報できる実証実験がスタートしています。

当システムを活用し修繕内容をすぐに把握することで迅速な補修に役立ちます。



LINE 友達追加

※修繕の対象は鎌倉市道ですが、国道等の場合は通報内容を市から情報提供する形になります

「縁むすびカード」の利用開始

ステッカーやポスターが目印の店舗で簡単にご利用できます。

- ① カードを持ってお店
- ② お支払い時にカードを提示
- ③ 利用金額をお店のスマホで確認
- ④ 決算完了

現金との併用や複数枚のカード利用が可能(店舗によって対応できない場合があります)

利用期間は令和3年3月15日までとなっております。

ぜひ、地域のお店を応援していただけたらと思います。

グリーン&ガーデニング大作戦

☆スケジュール☆

毎月第3土曜日の7時30分～8時30分

腰越駅集合(雨天中止)

腰越駅周辺・腰越海岸の清掃と雑草の手入れを行います。緊急事態宣言に伴い1月は中止いたします。2月以降は状況に応じて判断いたします。

第94回:1月16日(中止)

第95回:2月20日(予定)

第96回:3月20日(予定)

第97回:4月17日(予定)

:



ひなた新聞 42号



鎌倉市議会議員

ひなた慎吾



活動レポート



1983年6月9日 生まれ (37歳)

モンタナ幼稚園→腰越小学校

→腰越中学校→鎌倉高校→日本大学卒業

IT企業へ就職後、2013年29歳で鎌倉市議会議員初当選。

2017年2期目の当選。腰越在住。

〈現在〉観光厚生常任委員会委員・議会広報委員会委員長

●感謝の気持ちで今できることを最大限に

1月7日現在の鎌倉市内居住者の累積感染者数は366人となり、1月1日～7日の期間で79人の方の感染が確認され、急速な拡大が続いています。

コロナ禍の今、地域の心の「つながり」「支え合い」を感じる機会が増えていると思います。助けが必要な人へそれぞれが「できること」を提供し支え合っていく。リアルなコミュニケーションは今は難しいかもしれませんが、「何かできることはないか」と思う人の活動をつなげていき、お互いの身体と心の状態を気遣い、世代を超えたつながりを地域で築くことで「子どもから大人まで、すべての人がここに住んで良かったと思えるまちづくり」となるようこれからも全力で取り組んでまいります。

住所: 鎌倉市腰越 3-23-7 連絡先: 0467-32-5889

ホームページ: <http://www.hinata-kamakura.com/>

ブログ: <http://www.hinata-kamakura.com/blog/>

メール: hinata.shingo@gmail.com フェイスブック: 日向慎吾

ツイッター: @HinataShingo インスタグラム: hinata.shingo



討議資料

●海岸と海洋ごみについて

海に流出するプラスチックごみの量は世界中で年間800万トン(東京スカイツリーおよそ222基分)という試算もあり、2050年までに海に漂うプラスチックの総重量は魚の総重量を超えると予測されています。

海洋ごみは、一人ひとりが意識して発生させないようにすることが大事です。また、街から川、そして海への流出をいかに抑えていくかも重要と考え、12月の一般質問では、解決に向けて【人】【街】【川】【海】での取組や要望を踏まえ議論いたしました。

・【人】

身近なプラスチックごみの使用削減を促すこと、マイボトルのさらなる普及のため市内のウォーターサーバー設置拡大、環境教育の充実を図るために学校や家庭、地域で様々な取組を実践し環境問題を身近に意識させる重要性を訴えました。



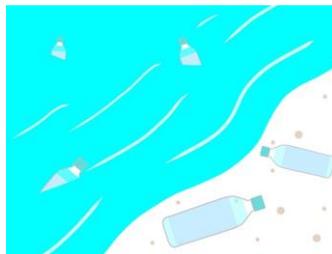
・【街】

街中の清掃やビーチクリーンで拾うごみの種類では、ペットボトルや空き缶よりも、たばこの吸殻が特に多く見られます。鎌倉駅と大船駅周辺を路上喫煙禁止区域としていますが、マナーの啓発と同時にポイ捨ての抑止のためにも路上喫煙禁止区域を拡大していくべきと考えます。併せて屋内型喫煙所の整備を進めることも要望しました。



・【川】

海のごみの約7割が河川から流入しているという結果があり、河川のごみを減らすことも重要です。そのため、沿岸部の自治体だけでなく、国や県、河川上流域の自治体に対して河川のごみ回収の呼び掛けなど、広域的な取組を要望しました。



・【海】

海岸でのプラごみゼロの取組を強化すべきと考えます。由比ガ浜海水浴場ではいち早く全店舗で紙製のエコストローを導入して下さいましたが、プラごみゼロ宣言をした鎌倉市として、鎌倉の海岸全体に広げ、みんなの海をみんなで守る取組につなげることを要望いたしました。



地球に対して私たち一人ひとりがほんの少しだけ親切にすることが、ごみを少なくしていく近道です

・漁業者との連携による海洋ごみの処理体制

腰越漁業協同組合の漁業者の方々が漁をする時に網にかかったごみを回収する取組を行っていただいております。漁師の方からご相談を受け市と協議をし、近隣の自治体で海中ごみの回収を行っている事例はありませんでしたが、令和元年11月から市が処理をすることで漁業者の費用負担をなくす取組を開始していただいております。これまで約190kgのごみを処理して下さっており、このような連携がさらに広がり、近隣にも広がっていくことを望みます。



●地域の交流の場の充実に向けて

共に支え合える環境を整えていくことが、共生社会の実現につながります。そのため、老人福祉センターのような施設だけでなく近所ですらっと立ち寄れる場所や多世代が交流できる機会を作り、地域の交流をもっと広げたいと思います。さまざまな世代が集まるからこそ助け合える関係が生まれたり、関わりが増えればこれまで以上に住民同士の顔が見える関係づくりが進みます。通いやすい場所や無理のない地域にあわせた運営、事業への支援など、身近で気軽に多世代でも交流できる場の充実に向けて取り組んでまいります。

